

第三セクター等経営健全化方針に基づく取組状況（令和元年度）

○ 法人名：球磨川くだり株式会社

代表者名：代表取締役 瀬崎 公介

所在地：熊本県人吉市下新町 333-1

設立年月日：昭和 37 年 12 月

資本金：24,000 千円 【人吉市の出資額（出資割合） 12,000 千円（50%）】

事業内容：川下り遊覧船業、その他事業（売店物品販売、ラフティング、造園及び緑化請負等）

○ 経営健全化方針を策定した理由：

・債務超過額が 16,463 千円（平成 29 年度決算）発生したため、策定したもの。

○ 財政的リスクの状況：

項目	平成 29 年度 決算	平成 30 年度 決算	目標達成年度 (令和 4 年度)
債務超過額（千円）	16,463	22,012	0
土地開発公社のうち債務保証又は損失補償の対象となっている保有期間 5 年以上の土地の簿価総額（A）（千円）	0	0	0
損失補償、債務保証及び短期貸付けの合計額（B）（千円）	0	0	0
標準財政規模（C）（千円）	9,009,682	8,827,225	—
実質赤字比率（%）	0	0	—
(A) / (C) (%)	0	0	0
(B) / (C) (%)	0	0	0

○ 主な取組状況（令和元年 12 月現在）：

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・旧来のイメージを払拭するために、経営理念、経営ビジョン、行動指針を刷新。その一環として社名（旧：くま川下り株式会社）及びロゴマーク、リーフレット等を変更した。
- ・業務効率化の取組として、不採算部門であった飲食業を廃止、IT 活用（クラウドレジ及びネット予約）による業務効率化に伴いホームページ（WEB サイト）を刷新、運航時間の平日・土日の統一化及び定休日の導入、賃金制であった若手船頭の社員化に伴う雇用形態の効率化を図った。
- ・集客増加に向けた取組として、子ども料金、団体料金を改定、最少催行人員を 6 名から 2 名に変更。旧来の舟のリノベーションを行うとともに新型船として大型船を 2 隻導入した。
- ・休止中である下流域の「急流下り」の運航復活に向けて関係団体と鋭意協議中である。

【人吉市による財政的なリスクへの対処のための対応】

- ・負債に伴う利子圧縮を目的とした借換えの原資として長期融資（60,000 千円）の貸し付け。
- ・経営健全化の円滑化に向けて、地域おこし協力隊（1 名）が経営管理業務に専任従事。

○ 法人の財務状況：

(貸借対照表から)

(単位：千円)

項目	平成 29 年度 決算	平成 30 年度 決算
資産総額	135,948	134,701
(うち現預金)	3,180	7,808
(うち売上債権)	3,864	355
(うち棚卸資産)	2,212	566
負債総額	152,411	156,713
(うち人吉市からの借入金)	35,000	95,000
純資産総額	▲16,463	▲22,012

(損益計算書から)

(単位：千円)

項目	平成 29 年度 決算	平成 30 年度 決算
経常収益	122,355	92,495
経常費用	121,217	97,705
経常損益	1,138	▲5,210
経常外損益	▲111	0
税引前当期純損失	1,027	▲5,210
法人税、住民税及び事業税	339	339
当期純損益 (税引後)	689	▲5,549